

あっという間に秋がすぎ、いよいよ寒さが増して冬の気配が近づいてきました。楽しい行事も多い時期、子どもも大人も、元気に過ごしたいですね。

さて、保育園の秋といえばバザー！コロナ化を経て、バザーの実施内容にもいろいろな変化があったようです。今回、京都市内の4園の保護者の皆さんに各園のバザーの様子についてレポートしていただきました。それぞれに特色があって面白いです！ぜひご一読ください。

各園のバザー レポート特集

旭ヶ丘保育園はコロナ後2回目のバザー開催となりました。コロナ前を知っている保護者が少なくなったため、食べ物うどんやフライドポテト、フランクフルトなど簡単なものだけになりました。それでも昨年度盛り上がったおばけ屋敷は保護者と先生の有志が集まり今年も本格的にしました。手作り品も有志で復活し、少しでも保護者や先生の繋がりを持てるように工夫をしています。（旭ヶ丘保育園保護者 長尾）

朱一保育園の今年度のバザーは秋祭りとして実施しました。昨年までは8月に夏祭り、11月にバザーを行っていましたが、保育園と保護者会で検討を重ね、今年から二つの行事を一本化。8月のイベントは暑すぎて体調が心配されること、保護者会と保育園双方の負担の軽減を目指したことが大きな理由です。これまでバザーは日曜日に実施していましたが今年は土曜日開催に変更し、準備も当日の朝に集中して行うことにしました。例年と大きくスタイルを変えましたが、バザー当日はとてもスムーズ、穏やかで楽しい一日となりました。

朱一保育園では毎年バザーの目玉として2歳児クラスの保護者が劇をするのが伝統になっていましたが、コロナ禍で中断していました。今年は劇未経験の4歳児クラス（私の息子のクラス！）が劇を復活。どうなることやらと思いましたが、金曜日の夕方や土曜日のお昼に集まってわいわいと準備をするのは楽しいものでした。バザー当日、保護者による劇「おきなかぶ」は午前の部午後の部の2回公演、スタッフも入れ替えて行い、どちらも大盛況。バザーから数日経っても、保護者同士顔を合わす度に「劇楽しかったね」「〇〇ちゃんのお父さんすごかったね」と言い合っています。（朱一保育園保護者 小関）



朱い実保育園では、例年6月下旬にバザーを行っていましたが、準備や猛暑の関係で今年は、11月3日、秋開催となりました。今年のバザーでは、統一テーマとして「プラスチックフリー」を掲げ、極力プラスチックごみを出さない取り組みを進めました。バザー前から学習会や定例会議を通じて、マイクロプラスチックの問題点やプラスチックごみ削減への取り組みについて、保護者や保育園の先生方と勉強や実践を重ねた結果、例年に比べごみの量を3分の1に減らすことができました。バザー自体も大成功で、良い季節に楽しくも充実したバザーを行うことができました。(朱い実保育園保護者 小山)

2024 たかつかさ“つくる”バザー 心地よい秋晴れの11月17日、京都市北区たかつかさ保育園にて保護者会 によるたかつかさ保育園“つくるバザー”が開催されました。たかつかさ保育園では保護者が“一人一役”として活動しています。保護者会活動の中でも、一大イベントであるバザーのために、園児保護者達が“いっちょやりますか~!”精神のもと、創意工夫で来場した方々を楽しませます。その中でも、今年はゲリラ ライブと称して、“マツケンサンバ”ならぬ、“たかつかさサンバ”を保護者会有志 が主体となって、披露しました。音楽に合わせて保護者たちが踊り、園児や来場者も一緒になって楽しみました。このライブパフォーマンスは大好評で、会場全体が笑顔に包まれました。子ども達には遊びチケットを販売し、手作りの缶バッジ・クリスマスリース・プラバンモビールが作れるワークショップブースを開催し、楽しい親子での触れ合いの機会となりました。また、コイン落としや輪投げが設けられ、子どもたちは大いに楽しめました。その他も、保育園と繋がりのある新鮮な青果、おにぎり、どら焼き等の販売、保護者からの提供品や手作り品の販売など、多くの方々が買い物を楽しみました。大人達が、全力で楽しむ姿は、子ども達にとっての喜びや安心感へ繋がる事を改めて感じました。たかつかさ保育園の“つくるバザー”は、保護者たちの協力と創意工夫によって、素晴らしい1日になりました。

(たかつかさ保育園保護者 池田)



～今後のイベントのご案内～

12月、1月と続けて市保連関連のイベントが開催される予定です。12月は市保連主催の学習会&交流会、1月は橘大学主催で、京都市の保育、町作りに関するシンポジウムとなっております。

12月の学習会では市保連の活動についてもお話しさせていただきます。市保連事務局では現役保育園保護者の市保連事務局に加わって下さる方を募集しております。市保連がどんな活動をしているのか、ご興味のある方は是非ご参加頂ければと思います！

京都市保連学習会 & 交流会

「こどもの心を守るために～子どもの権利条約とは?～」

12月13日（金）18：30～20：00

講師：藤井豊さん（朱い実保育園元保護者、弁護士）

会場：朱一保育園

* 詳細は同封のチラシをご覧ください

京都橘大学主催シンポジウム

「京都の持続的発展と住みやすいまちづくりー京都市財政と子育てをめぐる政策・現状ー」

1月19日（日）13：30～16：30（予定）

会場：京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）

登壇者および講話内容

- ・趣旨説明 岡田知弘（京都橘大学経済学部教授）
- ・保育の現場から（仮）：こどもたちの保育園での日常風景 西井志織（白い鳩保育園保育士）
- ・京都市における子育て支援政策と財政状況 小山大介（京都橘大学経済学部准教授）
- ・京都市における外国人家族の実態：保育・学童の現状を中心に
（那須ダグバ潤子（京都橘大学看護学部准教授）

* 詳細については現在調整中です。決定次第、改めてご案内させていただきます。

主催者より：

京都市の保育の現状を共有し、新たな活動へと助走するための場となれればと考えております。

★市保連メーリングリスト／LINE オープンチャットご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストと LINE オープンチャットを設けています。参加資格は各保護者会の会長、副会長、または市保連を担当する役員の方々です。ぜひご参加ください。参加を希望される方は、市保連事務局（info@shihoren.net）までメールにてご連絡いただければ、参加方法をご案内します。



『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！

